



# ワイヤレススピーカーシステム

## AT-SP03BT

### 取扱説明書



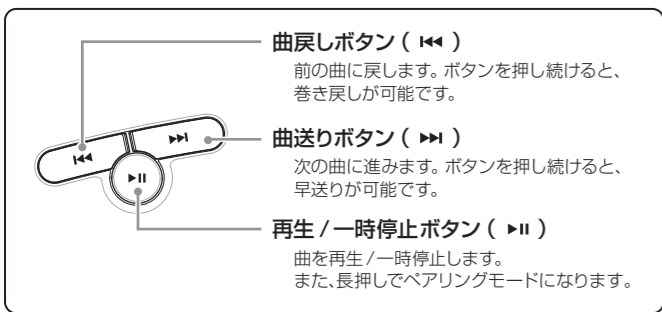
#### ユーザーマニュアル

お買い上げありがとうございます。

こちらのページは取扱説明書 **ユーザーマニュアル**、  
裏ページは取扱説明書 **リファレンスガイド** で構成されております。  
ご使用前に、この取扱説明書のすべてをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### 各部の名称と機能

#### スピーカー



- 曲戻しボタン (◀◀)**  
前の曲に戻します。ボタンを押し続けると、巻き戻しが可能です。
- 曲送りボタン (▶▶)**  
次の曲に進みます。ボタンを押し続けると、早送りが可能です。
- 再生/一時停止ボタン (▶||)**  
曲を再生/一時停止します。  
また、長押しでペアリングモードになります。

- 充電インジケータ (🔋)**  
本製品の充電状況をインジケータで表します。
- ステータスインジケータ (📶)**  
本製品の動作状況をインジケータで表します。

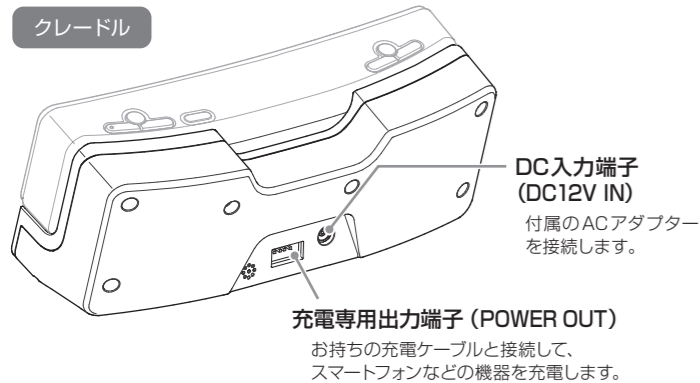
通話マイク

フロントカバー

- 電源ボタン/ハンズフリーボタン (🔋/📶)**  
長押しすることで電源をON/OFFします。着信があった際に、ボタンを押すと本製品を置いたまま通話できます。(ハンズフリー通話)

- ボリュームボタン (+)(-)**  
音量を調整します。
- 通話ボタン (📞)**  
本製品を受話器として通話できます。(ハンドセット通話)

#### クレードル



**DC入力端子 (DC12V IN)**  
付属のACアダプターを接続します。

**充電専用出力端子 (POWER OUT)**  
お持ちの充電ケーブルと接続して、スマートフォンなどの機器を充電します。

### 充電のしかた

初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。  
また、充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品から10秒に1回「ビピッ」と音が鳴ります。音が鳴った場合は、本製品を充電してください。満充電までに必要な充電時間は約2.5時間です。(使用条件により異なります)

- 付属のACアダプターをクレードル背面のDC入力端子に接続し、コンセントプラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- ボタンやインジケータが上になるように、スピーカーをクレードルに置きます。
- スピーカーの充電用インジケータが緑色に点滅・点灯します。

点滅：充電中  
点灯：充電完了

- 充電完了後に放置している場合は、過充電などトラブルを防止するために安全装置が稼働してインジケータが消灯する場合があります。
- 充電中はクレードルや本製品が温かくなりますが、異常ではありません。また、充電完了直後も温度が高くなっていますので、ご注意ください。

### 接続のしかた

#### 初めて本製品と接続する場合

初めて本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリング(登録)する必要があります。

- 電源ボタンを長押しして、電源をONにします。**  
 **ビボバポ**   
 (青) 点滅

- 再生/一時停止ボタンを長押しして、本製品をペアリングモードにします。**  
 **ポッピー**   
 (青×赤) 早い点滅

- ペアリングされないまま3分間続くと音が鳴り、自動でペアリングモードから手順1の状態(電源ON)に戻ります。

- Bluetooth機器で、本製品を検索します。  
Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。  
\*Bluetooth機器によっては、BluetoothをONにすると自動で検索する場合があります。

- 本製品を検索するとBluetooth機器に「AT-SP03BT」と表示されます。「AT-SP03BT」を選択してください。  
  
機器によっては、パスキー\*を要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。  
\*パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。

- 音が鳴るとペアリングが正常に行われ、接続完了です。  
**ビボバポー**   
 (青) 遅い点滅

本製品は合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

次回からの接続は、「2回目以降の接続(ペアリング済み)の場合」から接続してください。

#### 2回目以降の接続(ペアリング済み)の場合

- 電源ボタンを長押しして、電源をONにします。**  
 **ビボバポ**   
 (青) 点滅
- 接続機器のBluetoothをONにします。  
Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。
- 音が鳴ると接続完了です。  
**ビボバポー**   
 (青) 遅い点滅

### 使いかた

本製品は、Bluetooth接続を行い音楽再生や着信を受けることができます。用途に合わせてご使用ください。また、Bluetooth機器のアプリケーションなどの動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。

### 電源

- ON：電源ボタンを長押しすると、電源が入ります。
- OFF：電源が入っている状態で、電源ボタンを長押しすると電源が切れます。

### 音楽を聞く

- Bluetooth機器と本製品を接続してください。
- Bluetooth機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してお楽しみください。本製品では下記の操作ができます。

- 再生/一時停止(▶||)** 再生、一時停止をします。
- ボリューム(+/-)** +：16段階の調整が可能で、最大音量になると「ビピッ」と音が鳴ります。  
-：16段階の調整が可能で、最小音量になると「ビピッ」と音が鳴ります。
- 曲戻し(◀◀)** ◀◀×1：曲の頭に戻ります。  
◀◀×2：1曲前の曲に戻ります。  
◀◀押し続ける：早戻し
- 曲送り(▶▶)** ▶▶×1：次の曲になります。  
▶▶押し続ける：早送り

### 電話を使う

Bluetooth機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話ができます。

#### 受話

Bluetooth機器が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。

- ハンズフリー通話  
 **ハンズフリーボタン**を押して、受話してください。
- ハンドセット通話  
 **通話ボタン**を押して、本製品を持って受話してください。(右図参照)  
  
**通話マイク**位置をご確認ください。

\*音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。終話後、音楽再生が再開します。

#### 終話

通話中に**通話ボタン**を押すと、終話します。

#### ハンドセット通話、ハンズフリー通話の切り換え

通話中、ハンズフリーボタンを押す度に、  
ハンドセット通話 ↔ ハンズフリー通話に切り換わります。

#### 着信音量の変更

音量変更	大きく	着信中にボリュームボタン(+)を押す	
	小さく	着信中にボリュームボタン(-)を押す	
ミュート		着信中にボリュームボタン(-)を2回押す	
ミュート解除		ミュート中にボリュームボタン(+)を1回押す	

#### 通話音量の変更

通話中にボリュームボタン(+/-)を押すと、通話音量の  
大小を変更できます。

#### 着信拒否

着信中に**通話ボタン**を長押しすると、着信音が消えて着信拒否することができます。

### その他の機能

#### スマートフォンなど接続機器の充電

接続機器の充電を行うことが可能です。一部のタブレット端末の充電には対応していません。

- 付属のACアダプターをクレードル背面のDC入力端子に接続し、コンセントプラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- 市販のUSBケーブルをクレードル背面の充電専用出力端子に接続します。
- 市販のUSBケーブルをBluetooth機器に差し込み、充電します。

#### オートパワーオフ機能

電源がONの状態、10分間使用しないと自動的にOFFになります。

#### リセット機能

本製品(スピーカー、クレードル)が動作しないなど不具合が生じた場合は、それぞれリセットしてください。

- スピーカーのリセット**  
「充電式電池の交換のしかた」を参照して充電式電池を外し、再度入れ直してください。  
\*リセットしても、記憶されている音量などは初期化されません。
- クレードルのリセット**  
クレードルに接続しているACアダプターを取り外し、再度接続してください。

### 充電式電池の交換のしかた

充電しても満充電されない場合や電池の消耗が早い場合は、充電式電池の消耗が考えられますので、電池交換をしてください。新しい電池は、当社指定の電池をご使用ください。お求め方法は販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。

交換用充電式電池 ニッケル水素電池 RB-SP03BT

- 図のように、矢印の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせてフロントカバーを外します。
- 電池から出ている赤・黒コードの端子を外します。  
\*コードの根元部分を持って外してください。
- 新しい電池の赤・黒コードの端子を本製品に接続します。  
\*シール面が見えるように電池を入れてください。
- 1.と逆の手順でフロントカバーを取り付けてください。